



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ジーテクノサイエンス  
 コード番号 4584 URL <https://www.g-gts.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷 匡治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 栄 靖雄

TEL 03 - 6222 - 9547

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	174	44.4	682		693		696	
2020年3月期第2四半期	313		611		613		6,550	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 605百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 6,569百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	24.49	
2020年3月期第2四半期	236.95	

(注) 1. 2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,611	1,466	38.3
2020年3月期	3,592	1,487	39.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,384百万円 2020年3月期 1,430百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	972	9.8	1,672		1,688		1,691		58.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	28,964,630 株	2020年3月期	27,646,986 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	92 株	2020年3月期	92 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	28,424,005 株	2020年3月期2Q	27,643,905 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

当社は、2020年11月9日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会は当該四半期決算補足説明資料を用いて実施いたしません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、これまでの事業活動で得てきたバイオ技術に関するノウハウ及び知見を最大限活用し、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様、そのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬のみならず新たな医療の開発・提供に取り組んでおります。具体的には、バイオ後続品事業で安定的な収益基盤を確立させつつ、バイオ新薬事業及び再生医療における細胞治療分野を軸とした新規バイオ事業で成長性を追求しております。

当第2四半期連結累計期間における各事業の進捗状況は以下のとおりであります。

#### ① バイオ後続品事業

富士製薬工業(株)と持田製薬(株)による好中球減少症治療薬「フィルグラスチムBS」の原薬販売及び2019年11月27日より販売開始された(株)三和化学研究所と共同開発を行っていたダルベポエチンアルファバイオ後続品の売上高にに応じたロイヤリティによる売上収益を安定的に計上しております。加えて、2020年9月18日に千寿製薬(株)と共同で開発している眼科治療領域のバイオ後続品について、同社より国内での医薬品製造販売承認に関する申請が行われ、将来の同社に対する製品供給による収益確保は大きく前進いたしました。その他、開発中のパイプラインについても着実に開発活動を推進しております。

#### ② バイオ新薬事業

次世代型抗体医薬品等の研究開発を進めた結果、2020年1月にがん細胞内侵入能力を有する抗体を用いた抗がん剤の開発を目的として札幌医科大学との共同研究契約、同じくがん細胞殺傷効果を有する新たな抗体の取得を目的としてMabGenesis(株)との共同研究契約をそれぞれ締結し、その他の開発中のパイプラインと合わせて研究開発活動を継続しております。

#### ③ 新規バイオ事業

当社は、GTS3.0の実現に向けた再生医療事業の研究開発において、重要な研究ソースとなる歯髄幹細胞及び心臓内幹細胞を活用したプロジェクトの推進、アカデミア及び企業との共同研究または提携を推進しております。

歯髄幹細胞については、歯髄幹細胞の疾患に対する適性を見極め、骨及び神経疾患といった分野で新たな治療法を提供できる可能性を複数のアカデミア及び企業に評価いただき、それぞれ研究開発活動を推進しております。加えて、2020年8月20日に北海道大学及び総合せき損センターと歯髄幹細胞を活用した難治性骨折の治療法創出に向けた共同研究契約を締結し、引き続き研究開発品目の拡充及び推進を図っております。

心臓内幹細胞については、これまで資本提携関係にあった(株)日本再生医療を前連結会計年度において完全子会社化することで、小児の重篤な心臓疾患である機能的単心室症を主な対象とした再生医療等製品の開発品(開発番号JRM-001)を当社のパイプラインに加え、当社の事業化ノウハウ、技術及び開発資金を投じ、開発活動を加速させております。

また、再生医療分野での事業を進展させていくための重要なステップとして、当社及び(株)日本再生医療の開発経験、ノウハウなどを活用することにより、(株)ニコンとの業務提携に基づき開発中であった、歯髄幹細胞を再生医療等製品として製品化するための基となるマスターセルバンク(MCB)製造法を改良し、2020年3月にMCB製造法を確立しました。その後、臨床試験の開始に向けてパートナー企業等との連携を強化していくために、MCBの製造及びワーキングセルバンク確立と安定供給体制の構築を進めております。なお、当該案件に関連して、2020年8月より東京大学医学部附属病院との連携による歯髄幹細胞製造の原料となる乳歯を提供頂くための臨床研究を開始いたしました。本臨床研究は、「ヒト(同種)細胞原料供給に係るガイドランス(初版)」に基づいた歯髄幹細胞製造の原料となる乳歯を提供頂くための国内初の取り組みであります。今後、本臨床研究を確立する事により安定した乳歯提供体制を確立し、上述のMCBにおいて安定的な歯髄幹細胞製造体制構築を目指します。これにより当社における再生医療等製品の研究・開発活動を加速すると共に、アカデミアや企業との連携による研究・開発パイプラインの強化を進めてまいります。

さらに、2020年2月14日付で(株)同仁グループと再生医療及びヘルスケア領域における事業展開を目的に締結した業務提携に基づき、同社との新たな歯髄幹細胞事業体制の構築に向けて、2020年7月10日付で当社完全子会社である(株)セルテクノロジーの全株式を同社に譲渡する旨を定めた株式譲渡契約を締結いたしました。本契約は、(株)セルテクノロジーの歯髄細胞バンク®及び培養上清事業を同仁グループの類似事業と組み合わせ、両社が長年培ってきた事業ノウハウ・ネットワーク等を共有することで、当該事業の成長を加速し、価値の最大化を図ることを目的としており、現在当該株式譲渡の効力発生予定日である2020年12月31日(当初予定日:2020年9月30日)に向けて、両社でその新たな連携体制の整備を進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は174,487千円（前年同四半期比44.4%減）、営業損失は682,725千円（前年同四半期は営業損失611,310千円）、経常損失は693,599千円（前年同四半期は経常損失613,934千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は696,079千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,550,155千円）となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う当第2四半期連結累計期間における業績への影響はありませんでした。また、当社グループの売上高の大半を占めるフィルグラスチムBSの販売につきましては、受注状況に合わせて納品スケジュールを定めており、その納品のタイミングは年度によって異なります。このため、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比減となっておりますが、当連結会計年度の業績予想に影響はありません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末比0.5%増の3,611,455千円となりました。これは主に、売掛金が576,630千円減少したものの、現金及び預金が468,991千円、投資有価証券が121,072千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比1.9%増の2,144,975千円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債が40,000千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比1.4%減の1,466,479千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ280,000千円、その他有価証券評価差額金が90,615千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を696,079千円計上したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ468,991千円増加し、2,501,566千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は104,638千円となりました。これは主に、売上債権の減少576,630千円があったものの、税金等調整前四半期純損失を695,048千円計上したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は5,854千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出3,254千円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は579,484千円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入599,710千円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月25日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,032,575	2,501,566
売掛金	651,686	75,056
仕掛品	254,260	302,769
その他	383,810	338,616
流動資産合計	3,322,333	3,218,008
固定資産		
有形固定資産	1,977	1,810
無形固定資産	57	2,966
投資その他の資産		
投資有価証券	249,161	370,233
その他	18,608	18,435
投資その他の資産合計	267,770	388,669
固定資産合計	269,805	393,446
資産合計	3,592,139	3,611,455
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,763	20,205
短期借入金	25,000	—
未払法人税等	46,935	30,139
受注損失引当金	355,243	379,243
その他	445,037	428,325
流動負債合計	880,979	857,914
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	600,000	640,000
長期借入金	600,000	600,000
退職給付に係る負債	19,320	16,605
その他	4,448	30,456
固定負債合計	1,223,768	1,287,061
負債合計	2,104,748	2,144,975
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	611,711	891,711
資本剰余金	9,917,311	10,197,311
利益剰余金	△9,077,244	△9,773,324
自己株式	△73	△73
株主資本合計	1,451,704	1,315,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,540	69,075
その他の包括利益累計額合計	△21,540	69,075
新株予約権	57,226	81,779
純資産合計	1,487,390	1,466,479
負債純資産合計	3,592,139	3,611,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	313,661	174,487
売上原価	84,500	39,964
売上総利益	229,160	134,523
販売費及び一般管理費		
研究開発費	484,033	403,208
その他	356,437	414,040
販売費及び一般管理費合計	840,471	817,249
営業損失(△)	△611,310	△682,725
営業外収益		
受取利息	63	36
講演料収入	155	—
為替差益	—	103
雑収入	139	669
営業外収益合計	358	809
営業外費用		
支払利息	376	7,985
株式交付費	1,847	2,959
為替差損	554	—
雑損失	204	737
営業外費用合計	2,982	11,682
経常損失(△)	△613,934	△693,599
特別利益		
投資有価証券売却益	4,419	—
特別利益合計	4,419	—
特別損失		
固定資産除却損	854	0
減損損失	5,938,405	1,449
特別損失合計	5,939,259	1,449
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,548,774	△695,048
法人税、住民税及び事業税	1,381	1,031
法人税等合計	1,381	1,031
四半期純損失(△)	△6,550,155	△696,079
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,550,155	△696,079

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△6,550,155	△696,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,971	90,615
その他の包括利益合計	△18,971	90,615
四半期包括利益	△6,569,126	△605,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,569,126	△605,464
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△6,548,774	△695,048
減価償却費	203	561
減損損失	5,938,405	1,449
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	24,000
受取利息及び受取配当金	△63	△36
支払利息	376	7,985
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,419	—
売上債権の増減額 (△は増加)	392,876	576,630
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△51,445	△48,508
前渡金の増減額 (△は増加)	△135,776	34,673
仕入債務の増減額 (△は減少)	△79,473	11,442
未払金の増減額 (△は減少)	△76,697	△22,547
その他	△37,077	15,082
小計	△601,866	△94,317
利息及び配当金の受取額	63	36
利息の支払額	△371	△7,927
法人税等の支払額	△2,521	△2,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	△604,697	△104,638
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,935	—
無形固定資産の取得による支出	—	△3,254
投資有価証券の取得による支出	△100,349	—
投資有価証券の売却による収入	4,720	—
その他	△8,693	△2,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,258	△5,854
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△25,000
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	599,710
新株予約権の行使による株式の発行による収入	40,325	—
新株予約権の発行による収入	—	4,774
その他	△31	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,294	579,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△670,660	468,991
現金及び現金同等物の期首残高	2,009,373	2,032,575
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	263,696	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,602,408	2,501,566

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債に付された新株予約権の権利行使がありました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ280,000千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が891,711千円、資本準備金が10,197,311千円となっております。